

第4次総合計画 総括シート

大綱	人づくりと文化の振興
----	------------

1. 施策別の達成状況

施策目標		達成状況 (...目標を超えて達成、 ...目標どおり達成、 ...一部の目標が未達成)	
-1	幼児教育の充実 (こども保健部)	主な実績と評価	共働き家庭の増加や、発達障害などにより特別な支援を要する幼児の増加などにより、公立幼稚園に求められるニーズは変化している。これを受け、平成23年度から、鶴山・加茂・東の公立幼稚園で、通常の保育終了後から預かり保育を実施している。また、特別支援対策については、職員研修を行うとともに、支援員を配置するなど、時代の要請に応えられるよう努めている。
		課題と今後の対応	平成27年4月施行の子ども・子育て支援新制度では、幼稚園・保育所に関する施策や、地域の子どもや子育て家庭に関する施策などが抜本的に変更される予定であるが、未だ不明確な部分があり、目前の対応に窮している。
	義務教育・学校給食の充実 (学校教育部)	主な実績と評価	児童生徒が考える力を育てるため津山市教育振興基本計画を策定し、学力状況把握や学校研究体制の整備、35人以下学級の編制等を実施した。また、スクールカウンセラー等の配置、教育心理検査の導入等により問題行動や不登校児童生徒の対応に努めた。学校施設整備では、全小中学校の耐震化工事を実施した。また、2つの学校食育センターの整備により、全小中学校への給食提供が可能になるなど、所期の計画を達成した。
		課題と今後の対応	学力向上は大きな課題であり、平成25年に津山市学校力向上プランを策定した。このプランに基づき、学力向上のみならず、生徒指導・不登校支援、特別支援教育に取組み、「わかる授業・学ぶ喜び・楽しい学校」を実現する。
-2	人権尊重・男女共同参画社会の実現 (総務部)	主な実績と評価	平成20年、平成25年に「男女共同参画さんさんプラン」を策定し、男女がともにその個性と能力を十分に発揮できる社会となるよう、全庁的に取り組んだ。また、平成22年8月には「津山市配偶者からの暴力の防止及び被害者の支援に関する基本計画」を策定し、ドメスティック・バイオレンスの防止と被害者支援の取組みを進めた。
		課題と今後の対応	基本計画に従い様々な施策や啓発を進めたことにより、女性の地位向上や固定的な役割分担意識に一定の変化が見えたものの、少子高齢化が進む中、男性も女性も安心して子育てや介護ができる環境を整える必要がある。
-3	生涯学習環境の整備、スポーツ・武道・芸術文化の振興 (生涯学習部)	主な実績と評価	生涯学習の拠点である公民館は、城西、加茂町、久米、津山東公民館の整備により、市内全地域で地区公民館の配置が完了した。また、図書館は、開館日・開館時間の拡大や自動貸出システムの導入により、利用者の利便性向上を図り、読書活動を推進した。スポーツ・武道施設の整備については、弓道場の新設、スポーツセンターサッカー場の人工芝生、スポーツセンター野球場改修などの施設整備を行った。芸術文化の振興については、平成22年に全国規模の国民文化祭を開催し、全国からの集客と市民参加の取組みを通じ、津山市の歴史・観光や魅力の発信を行うことができた。
		課題と今後の対応	多様な学習機会や学習成果を発揮する場の創出のため、公民館の利用促進や施設整備をはじめ、地域の情報拠点・学習拠点として、図書館サービスの向上に努める。スポーツ施設・芸術文化施設は老朽化が進んでおり、改修・修繕計画を作成し年次計画的に行っていく。
-4	歴史遺産・文化財の保存・活用 (生涯学習部)	主な実績と評価	郷土博物館・洋学資料館では、展覧会・各種講座の開催、小学校との連携による地域学習などの事業を通じ、本市の歴史・文化的価値を発信し、市民の郷土への誇りを醸成する役割を担った。文化財を保存・継承するため、史跡津山城跡保存整備事業、史跡美作国分寺跡公有化事業、中山神社本殿・八出天満宮本殿保存修理事業、宮川門跡石垣解体修理事業などを実施した。
		課題と今後の対応	郷土博物館・洋学資料館では、各館の特徴を発揮し、魅力ある企画を実施するため、関係博物館や研究者等と連携し、ソフト事業の充実に努める。また、郷土博物館は老朽化が進んでおり、早急な対応が必要となっている。
-5	国際交流の推進 (地域振興部)	主な実績と評価	姉妹都市であるサンタフェ市(米国)に、平成24年度は中学生10名、平成26年度は中学生6名を派遣した。対象者を中学生に絞り、事前研修を複数回実施することにより、研修の目的をより明確にすることが出来た。参加者の事前事後のアンケートからも、人材育成の観点から成果を上げられたことがわかる。
		課題と今後の対応	持続可能な交流を進めるためには、ある程度分野(文化、情操教育)を絞って交流を進める必要がある。また、行政が率先して事業を進めるのではなく、市内のNPO法人や学校等とサンタフェ側の交流がより活発になるよう、仕組み作りに努める必要がある。

2. 施策別の代表的な成果指標の達成度

-1	小・中学校の耐震化率 (学校教育部)	指標の説明	小中学校の施設のうち耐震工事が完了した施設の割合									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			57.0%			67.0%				98.3%
		実績値	50.6%	50.6%	60.6%	66.1%	68.9%	75.0%	79.7%	81.9%		
		達成率	88.8%	88.8%	106.3%	98.7%	102.8%	111.9%	81.1%	83.3%		
	達成状況の評価	平成25年度末で閉校となった阿波小学校を除き、平成26年度末で耐震改修の必要な学校施設の改修工事がすべて完了し、児童生徒の安心・安全で快適な教育環境の整備が出来た。										
-3	公民館の利用者数 (生涯学習部)	指標の説明	生涯学習の拠点施設である公民館の年間延べ利用者数									
			指標の推移									
			H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
		目標値			282,000人			287,000人				318,600人
		実績値	251,311人	283,641人	279,464人	298,836人	305,995人	312,885人	320,710人	335,849人		
		達成率	89.1%	100.6%	99.1%	104.1%	106.6%	109.0%	100.7%	105.4%		
	達成状況の評価	既に、平成25年度の公民館の年間利用者数が、平成27年度の最終目標値を大きく上回っており、着実な生涯学習行政の進展がみられる。										

